

● Photo sketch ●



3/26 受賞の決め手はひじきのソース

市では食育の取り組みとして、市内の小学6年生から学校給食の献立を毎年募集しています。今年は408点の応募があり、ベスト食育マイスター賞に加藤優光さん（泉西小6年）が見事選ばれ、その表彰式が同校で開かれました。

加藤さんは、「苦手なひじきの煮付けを克服するために、すり潰してソースにすることを思い付いた。将来の夢は野球選手。栄養を考えた食事を心掛け、体づくりに生かしたい」と話してくれました。



神谷そらさん

神谷ももさん

4/5 全国V 輝くゴルフ姉妹

全国中学校ゴルフ選手権春季大会文部科学大臣権争奪個人の部で優勝した神谷そらさん（土岐津町）と、全国小学生ゴルフ大会春季大会で優勝した神谷ももさん（同町）が、喜びの報告に市長を訪問しました。そらさんは「ジュニアの大会で優勝するという目標が達成できた。次は5月の中部女子アマチュアゴルフ選手権でも優勝したい」、ももさんは「プレーオフを制して優勝できた。姉についていけるよう頑張りたい」と笑顔を見せていました。



4/8 まちの安心・安全を守る 真剣なまなざし

今年度、団員の入替によって新たなメンバーとなった各町の消防団。新入団員を中心に必要な知識を習得するため、市内3カ所の防災・消防センターで研修会が行われました。

団員は、機関員、情報班、救護班など各班に分かれ消防団の役割など基礎的なことから、実際に消火栓やポンプを使って操作方法なども学びました。

新入団員は「慣れない言葉や操作に戸惑うが、活動を通じて経験を積んでいきたい」と意気込んでいました。



4/16 ふわふわ 刈りたての羊毛

初夏を前に、陶史の森で飼育されている羊6頭の毛刈りが行われました。作業員が、バリカンを使って手際よく毛を刈ると、見守る親子連れからは「おお〜、すごい」という歓声が上がりました。

毛を刈り取った後、みんなでその手触りを確かめると「ふわふわで気持ちいいね」と思わず笑みをこぼす子や、お土産に毛を袋いっぱい詰める子もいました。

9月の陶史の森まつりでは、刈り取った毛を使って、毛糸紡ぎ体験が開かれる予定です。



3/25 フェルトや絵本の温かみ 親子で触れ合おう

図書館で、温かくかわいらしい作風が持ち味の手芸絵本作家「\*すまいるママ\*」を講師に迎え、親子連れ約80人が、フェルトを使った動物の指人形作りなどを体験しました。

会場では、講師が即興でイラストを描くお絵かきライブや作品の展示、テレビでも紹介された講師の絵本作品「はなになりたい」をオルゴールの音色といっしょに読み聞かせ、胸を打つ場面もありました。

参加した子どもは、温かく優しい雰囲気の中「うさぎとかめを作った、大事にして遊びたい」などとほほ笑んでいました。



4/14 ~15 美濃焼がマルシェでずらり お気に入りの器を発見!

セラトピア土岐周辺で開催されていた「TOKI-陶器祭り」。今回から同所や土岐川河川敷で「土岐市美濃焼祭り~水辺の陶器マルシェ~」として新たに生まれ変わりました。

会場には、「美濃焼」ののぼりを掲げる店舗がずらりと並んだほか、全国各地のグルメを販売するキッチンカー広場や、絵付け体験などができるクラフト市もあり、訪れた人たちは思い思いに満喫している様子でした。

今回初めて訪れたという若い女性グループは、出店者から美濃焼について話を聞きながら、「このお皿かわいい」「カラフルな器っていいね」などと買い物を楽しんでいました。

